



大分市産業活性化プラザ主催

APU立命館アジア太平洋大学次世代事業構想センター(APU-NEXT)委託セミナー

APU-NEXT: 世界で活躍する リーダー企業

—グローバル・ニッチトップ企業の経営戦略—

中小企業が戦略的経営を実践し、競争優位の確立とともに、国際的競争力をつけることを目指します。
グローバル・ニッチトップ企業の経営戦略の入門講座として、概論を中心にその理論と実践について講義します。

第1回

10/5

[水曜日]

「地方創生時代の企業モデルを求めて：
GNT企業とその可能性
—ケルヒャー・津田駒工業ほか—」

講師 立命館アジア太平洋大学 国際経営学部教授 **牧田 正裕 氏**

第4回

10/26

[水曜日]

「(株)森鐵工所とドイツのProMinent(株)
のケーススタディーから学ぶ世界市場への
段階的アプローチ」

講師 立命館アジア太平洋大学 国際経営学部名誉教授 **難波 正憲 氏**

第2回

10/12

[水曜日]

「GNT企業へと脱皮した設備機械
メーカーの成功要因と中小・中堅企業が
目指す方向性
—日特エンジニアリング・アイダエンジニアリングの事例から—」

講師 立命館アジア太平洋大学 国際経営学部教授 **中山 晴生 氏**

第5回

11/2

[水曜日]

「グローバルに活躍する企業の可能性」

講師 立命館アジア太平洋大学 国際経営学部准教授 **藤本 武士 氏**

ゲスト
スピーカー

国立大学法人 電気通信大学客員教授 株式会社金子製作所 取締役総務部長
久野 美和子 氏 **秋山 朋子 氏**

第3回

10/19

[水曜日]

「企業の生残りとリーダーシップ
—韓国Hidden Championの事例から—」

講師 立命館アジア太平洋大学 国際経営学部准教授 **李 根熙 氏**

時間/各回 **18:30~20:00(18:00開場)**

会場 **ホルトホール大分 2F セミナールーム**

当日スケジュール
[開場] 18:00 [講座] 18:30~20:00
[交流会] 20:10~20:40 [閉場] 21:00

参加費 **500円(資料代・5回分)** 受講時受付にて現金でお支払いください。(返金不可)
交流会費は各回300円

定員 **45名(先着順)**

対象 **グローバル・ニッチトップ企業の
経営戦略に興味がある方**
大分市内に居住、または勤務の方優先

申込み方法 FAXまたはEメールに住所、氏名、勤務地、電話番号を記入し、9月1日(木)~10月3日(月)までに下記お申し込み先へお送りください。

※下記URLのホームページから申込用紙がダウンロードできます。
※大分市産業活性化プラザへ直接お持ちになっても結構です。
※募集期間中でも途中で募集を終了する場合があります。

●セミナー後に交流会を開催します!

[時間] 20:10~20:40 [会場] セミナーと同会場
[参加費] 300円(ソフトドリンク・お菓子代含む)

●館内の有料託児施設をご利用ください

[要予約] 開催日2日前までにご連絡ください。詳しくは **TEL:097-534-8033**
"NPO法人アシスト・バル・オオイタ:ホルトホール大分託児担当"まで (月~金10:00~18:00)

お申し込み・お問い合わせ

大分市産業活性化プラザ

〒870-0839 大分県大分市金池南一丁目5番1号 ホルトホール大分2F

✉ plaza-event@horutohall.jp

TEL 097-576-8879 FAX 097-544-3011



申込用紙ダウンロードサイト

<http://sangyo.horutohall-oita.jp/>



APU-NEXT: 「世界で活躍するリーダー企業ーグローバル・ニッチトップ企業の経営戦略」

第1回

「地方創生時代の企業モデルを求めて:GNT企業とその可能性ーケルヒャー・津田駒工業ほかー」

シリーズの第1回目として、GNT企業とは何か、それはどのような特長をもつ企業なのか、総論的に明らかにする。まず、地方創生を巡る一連の議論において、GNT企業が地方経済を牽引する中核企業として位置づけられていることの意味や背景について明らかにした上で、国内外の代表的なGNT企業についてイノベーションや事業戦略といった観点から検討を加える。これらを通して、地方創生時代の新たな企業モデルとしてのGNT企業の可能性、さらには、地方経済の今後のあり方について考えていきたい。

立命館アジア太平洋大学
国際経営学部教授



マキタ マサヒロ
牧田 正裕 氏

1996年小樽商科大学助手、1998年立命館大学政策学部講師を経て、2000年立命館アジア太平洋大学に着任。2003年博士(経営学、立命館大学)、2008年より現職。会計関連の科目のほか、サービスマネジメントを担当。主な著書「グローバル・ニッチトップ企業の事業戦略」(編著、文理閣、2015)など。

第2回

「GNT企業へと脱皮した設備機械メーカーの成功要因と中小・中堅企業が目指す方向性ー日特エンジニアリング・アイダエンジニアリングの事例から」

GNT企業へと脱皮した設備機械メーカーの成功要因を見ることによって、中小・中堅企業が目指す方向性を検討する。成功してきた企業は、①高度化が要請されるシステム力を強化するために、内部技術力の向上に注力するパターン、②コア技術を重視しながらも必要な周辺技術に関して他社との共同開発を積極的に取り入れるパターン、そして③営業力を重視することによって、顧客との共同開発も行いながら技術力を高めるといったパターンが見られる。そのなかで共通の成功要因として、汎用的な単品依存型から次第にシステム志向を取り入れながら顧客企業の生産体制を担うという経営戦略が極めて重要な成功要因であったことを指摘する。

立命館アジア太平洋大学
国際経営学部教授



ナカヤマ ハルオ
中山 晴生 氏

1949年和歌山県生まれ。1971年一橋大学経済学部卒業。1975年ミシガン大学MBA修了。1971年野村総合研究所入社。野村総研シンガポール社長、野村マネジメン・スクール主席研究員、滋賀大学客員教授、産業能率大学客員教授などを経て2009年度から現職。主にコーポレート・ファイナンスの講座を担当。主な著書に「企業変革と経営者教育」(野村総合研究所、2000年)など。

第3回

「企業の生残りとリーダーシップー韓国Hidden Championの事例から」

企業向けの投資、特に中小企業向けの融資が激減していく中、競争の激しい今の市場状況を勝ち抜くための解決策の提示はその重要性を増している。誰もが企業の「いさごり」で悩んでいる昨今の現実の中、そのヒントとなるアイデアを5つのキーワードを中心に分析していく。さらに、そのキーワードの一つであるリーダーシップをより深く理解するため、日本のGNTに値する韓国のHidden Championの事例を紹介する。韓国では総額2兆円を投入し、輸出1億ドル以上の持続的世界市場支配力を備える韓国型Hidden Champion300社を2019年まで育成するという目的で、2009年から「韓国型ヒドン・チャンピオン育成事業」を始めた。その育成事業で代表企業と選ばれたいくつかの企業の成功事例を、リーダーシップとの関係性を中心に紹介する。

立命館アジア太平洋大学
国際経営学部准教授



イノエ ケンジ
李 根熙 氏

2000年韓国で起業。2004年日本文部科学省奨学金を獲得し、立教大学博士前期課程で「観光学」を専攻。2007年修士号取得。その後、フィラデルフィアのテンブル大学でビジネス博士号取得。2012年4月から立命館アジア太平洋大学国際経営学部で消費者行動論、ホスピタリティ・マーケティング、マーケティング・リサーチなどを担当。

第4回

「(株)森鐵工所とドイツのProMinent(株)のケーススタディーから学ぶ世界市場への段階的アプローチ」

GNT企業の共通点は、①国内で売れている自社商品には世界にも顧客がいる。②そこで見える新たなニーズへの確・継続的な対応でGNT企業の地位を維持する。③そこから先の発展は「断トツ・オンリーワン」、「商品多様化」「システム化」、「サービス化」と類型化される。久留米市の(株)森鐵工所とドイツのプロミネント社の事例から、①、②、③の段階を上って行く知恵を学ぶ。

立命館アジア太平洋大学
国際経営学部名誉教授



ナンバ マサリ
難波 正憲 氏

1964年神戸大学経営学部卒業。1974年南カリフォルニア大学MBA修了。2002年東京大学大学院総合文化研究科博士課程単位取得満期退学(技術経営専攻)(現・JFE)で勤務。2002年立命館アジア太平洋大学国際経営学部教授就任(技術経営、アントレプレナーシップ担当)。2011年同名誉教授。2011年～2016年3月同客員教授。主な著書に「グローバル・ニッチトップ企業の経営戦略」(東信堂、2013)など。

第5回

「グローバルに活躍する企業の可能性」

グローバル・ニッチトップ(GNT)企業は、ニッチな市場を独占し世界展開する企業である。GNT企業の成功事例や、温泉県おいた・別府などのサービスにもつながるような技術や企業育成の捉え方とはなにか。GNTのモデル企業紹介や企業育成の考え方について、ゲストをまじえ紹介する。

立命館アジア太平洋大学
国際経営学部准教授

フジモト タケシ
藤本 武士 氏

2002年博士(経営学、立命館大学)、1999年～2002年立命館大学経営学部助手・非常勤講師、2003年～立命館大学経営戦略研究センター研究員、2004年立命館アジア太平洋大学に着任し、主にマーケティング科目を担当。2008年から現職。主な著書に「グローバル・ニッチトップ企業の事業戦略」(編著、文理閣、2015)など。

第5回ゲストスピーカー



クノ ミワコ
久野 美和子 氏

国立大学法人
電気通信大学客員教授
経済産業省関東経済産業局情報政策課長時代、TAMA協会の設立に関与し、産業クラスター構想の礎を創った。千葉大学薬学部を卒業後、民間の製薬会社に勤務し、経済産業省に転職。平成18年には資源エネルギー環境部次長兼産業担当次長、また同年から埼玉大学客員教授を兼任。平成27年4月～電気通信大学客員教授。平成24年～「つくばサイエンスアカデミー運営会議」委員。地域との関係では、次城県総合振興計画審議会委員、さいたま市総合振興計画審議会委員等々。



アキヤマ トモコ
株式会社金子製作所
取締役総務部長
秋山 朋子 氏

岡山大学法学部卒業。1996年金子製作所入社。経理で入社。経理改革の後、全社改革に取り組み、2004年JISQ9100認証取得。2005年本社工場、2011年いわき工場建設。2010年～海外展開開始。2016年世界初3Dモジュール開発に成功。企業価値を高め、収益性を高めることを通じて社会貢献することを念頭に常に挑戦し続ける。

大分市産業活性化プラザ主催セミナー申込書

大分市産業活性化プラザ 行き **FAX.097-544-3011**
MAIL:plaza-event@horutohall.jp

住所		〒		
ふりがな		勤務地		
氏名		交流会参加希望:希望回に○		
電話番号	1		2	3
FAX番号	4		5	
メールアドレス				
はじめて大分市産業活性化プラザ主催セミナーに申し込まれる方へ 今後、セミナー開催案内をメール等で お知らせしてよろしいでしょうか		このセミナーをどちらでお知りになりましたか		
はい・いいえ				

●必要事項をご記入の上、9月1日(木)～10月3日(月)までにFAX・メールにてお申し込みください。
●ご記入いただいた内容は、セミナー開催業務に必要な範囲に限定して使用させていただきます。
●募集期間中でも途中で募集を終了する場合があります。予めご了承ください。